

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
A I システム科											
アイデアソン・ハッカソン演習 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	久保田達也			実務 経験	有	職種	プランナー				
授業概要											
地域や社会の課題を発見し解決するアイデアソンおよびハッカソンを行う。											
到達目標											
地域連携やコンテスト出場を通して、メンバーで成果物を完成させることを目標とする。最後まで成果物を完成させることで、専門技術の向上を目指す。また、新しいサービスや機能に関するアイデアを生み出すことができ、それをプレゼンテーションで相手に正確に伝えることができる。客観的な評価を受けた際、その内容を次につなげる改善する力を身につけることができる。											
授業方法											
アイデアソン・ハッカソンが何かを知り、実際にすすめていく。チームでの取り組みの中で、コミュニケーションをしっかりとする。発表の場にて自らのアイデアを伝えていく。プロトタイプに関する中間発表も実施する。成果物を完成させられるだけのプログラミングスキルが必須となるため、不足技術は自ら授業外で能動的に学習することが求められる。											
成績評価方法											
授業時間内に行われる発表方法や発表内容、課題について評価をする。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることが求められる。（詳しくは、最初の授業で説明。）また、グループ学習の形式をとるため、協調性も評価の対象となりうる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。ノートPCは必携である。											
教科書教材											
配布資料											
回数	授業計画										
第1回	ハッカソン・アイデアソンの説明										
第2回	制作物の検討										
第3回	制作物の実現性確認、調査										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
A I システム科	
アイデアソン・ハッカソン演習 2	
第4回	制作作業(1)
第5回	制作作業(2)
第6回	中間発表準備および発表
第7回	制作計画の再検討
第8回	制作作業(3)
第9回	制作作業(4)
第10回	制作作業(5)
第11回	制作作業(6)
第12回	制作作業(7)
第13回	発表準備および発表(1)
第14回	発表準備および発表(2)
第15回	成果物の整理・集約・提出・フィードバック